

## 第6学年学級活動指導案

1. 日時・場所 平成24年6月13日(水) 13:30~14:15 6年2組教室

2. 議題名 「1年生とのなかよし集会をひらこう」

3. 議題について

### 子どもの実態

男子16名、女子15名の31人の構成である。明るく素直な子が多く、授業中に積極的に発言しようとする子が多い。また、当番活動や係活動も進んで行っている。特に係活動は、毎週水曜日の朝の時間を確保し、しっかりと準備を行っている。工夫を凝らした活動は、みんなの楽しみとなっている。男女の仲も比較的よい。

一方で、全体的に気持ちの幼さが目立つ。自分の意見は言うが、友だちの意見を聞くことができなかつたり、お互いを認め合おうとしたりすることができない子もいる。また、教師からの指示に頼りがちで、自分で考えたり取り組んだりしようとするのが苦手な子も多数いる。

### めざす子どもと教師の思い

学年当初、「こんなクラスにしたい」という一人ひとりの思いや願いをみんなで出し合い、話し合いを重ねてクラス目標『思いやり度100% 元気のよさはNO1 最高学年としてみんなをひっぱっていく 6年2組』が決定された。この目標を学級生活の中で、一つひとつの行事の中で意識できるように声かけをしてきた。

クラスは自分たちが主役であり、つくりあげていくものである。話し合い活動を通して、自分たちで取り組むことの楽しさや進んで行動することの大切さを感じさせたい。時には、友だちと意見がくいちがうこともあるだろう。しっかりと自分の思いを伝え、自分と異なる考えに耳をかたむける。友だちの考えをよりよいものにするためにみんなでアイデアを出し合い、実現していく。そうすることで個々のよさ、友だち一人ひとりのよさを認めることができると思う。

話し合い活動は、司会グループを出席番号順に輪番制にして、どの子にも経験できるようにしている。学級ポストを利用して子どもたちから意見を吸い上げ、司会グループと相談して議題を決めている。これまでに子どもたちは2回話し合い活動を経験してきた。学級会の経験がほとんどない子どもたちで、司会の進め方や意見の伝え方、聞き方など、不十分な点が多い。3回目の学級会になるが、適宜指導しながら進めていきたい。事前にしっかりとアイデアカードを記入することで自分なりの考えをもって話し合いに参加させる。次に司会グループとも綿密に打ち合わせを行い、イメージをもって臨めるようにする。また、板書の仕方を工夫する。賛成意見を黄色、心配・反対意見を青色で表す。短冊を利用して分かりやすく話し合いの流れや、意見のまとまりを提示する。以上の点に留意し、子どもたちが迷うことなく学級会を進行できるようにしたい。子どもたち自身で話し合い、決定していく充実感を味わわせたい。

### 議題

6年生になり2カ月が過ぎた。毎日の生活の中で、一つひとつの行事の中で最高学年としての自

覚をもった行動がとれるように指導してきた。運動会では、応援団をはじめとする児童係で下級生をひっぱっていき経験をした。また、4月から1年生との交流を行い、朝や休み時間に一緒に遊んだり、掃除の手伝いをしたりしてきた。少しずつ、最高学年としてみんなの前に立って行動することの大切さを感じてきている。

3回目の学級会は、児童の「せっかく親しくなった1年生と楽しく集会をしたい。」との願いから話し合いを行う。この願いはクラス目標に共通することであり、最高学年としてあるべき姿を実現していくものでもある。司会グループと打ち合わせをした結果、本時のめあて「1年生が楽しめるような内容に工夫しよう」が決定された。めあてを意識した話し合いができるように、司会グループが1年生に事前にアンケートをとり、その結果をまとめて発表する。提案者の思いを受け止め、アンケートとこれまでの交流の経験を生かして、一人ひとりが考えられるように支援していきたい。

本時は、まず「何を」するのかを決めるのではなく、提案された意見すべてを「どのように」工夫するのかから話し合わせたい。十分、工夫された内容になったところで「何を」行うかをしっかりと考えさせる。仮に、集会の中で扱うことができなかつた意見があっても、朝の時間等の交流で実践できるようにして、一人ひとりの思いが何らかの形で叶えられるようになっていきたい。

#### 4．評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身のまわりの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学校生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて、判断し、仲良く助け合いながら実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

#### 5．活動の実際

##### (1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価( )と支援( )
6月5日 中休み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司会グループで議題の確認を行う。</li> <li>・提案者の思いを聞く。</li> <li>・話し合いのめあてをきめる。</li> </ul>	話し合う議題を確認する。話し合わない議題については、書いた人に返事をするように促す。
6月6日 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司会グループが1年生に集会でどんな内容を希望しているかアンケートをとりに行く。</li> </ul>	アンケート用紙などではなく、1年生から口頭で意見を出してもらうよう促す。
6月6日 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案者が集会への思いを伝える。</li> <li>・司会グループが話し合いのめあてを伝える。</li> <li>・司会グループがアンケートの結果を発表する。</li> </ul>	話し合う内容や話し合いのめあてを知らせるなど、司会グループとしての役割を責任をもって果たそうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) 提案者の思いを受け止め、交流した経験を

	・学級会の議題を伝え、アイデアを考えてくるように伝える。	生かして考えをもてるように声をかける。
6月7日 朝の会	・考えてきたアイデアを学級会アイデアカードに記入する。	たくさんのアイデアで、より楽しい集会が実現されることを意識づける。 自分なりのアイデアを学級会アイデアカードにまとめている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月8日 昼休み	・アイデアカードをもとに司会グループで意見をまとめる。 ・話合いの流れを確認する。	流れを確かめることができるように、話合いの場面を一緒にイメージしていく。 すすんで話合いに向けて準備をしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) 教師とともに話合いのすすめ方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

ねらい

交流してきたことをもとに、1年生が楽しめるような意見を考え、述べることができる。

活動計画

児童の活動	評価( )と支援( )
1. はじめの言葉 2. 司会グループの紹介 3. 議題の確認 4. 提案理由の説明 (提案者) 5. めあての確認 6. 先生の話 7. 話合い 議題 「1年生とのなかよし集会をひらこう」  <b>板書予想は以下</b>	司会グループとして、聞き取りやすい声で発言したり、板書したり役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)  提案者の思い、話合いのめあて、クラス目標を意識しながら話し合ったり、決定したりできるようにする。  話合いの進め方などでつまづいた時には、助言をする。  友だちの思いを認めながら、自分と比べ、よりよい意見を考えて発言している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
8. 決まったことの確認 9. 振り返り 10. 先生の話 11. おわりの言葉	話合いのめあて・クラス目標などを意識した意見、みんなが納得できるようなよりよい意見や態度、議長グループの頑張りなどを称賛する。

板書計画

<p>決まったことの確認 ふりかえりタイム 先生の話 おわりの言葉</p>	<p>話し合い (予想) ・ドッジボール ・ドロケイ ・読み聞かせ ・おにごっこ ・合唱</p>	<p>議題 一年生とのなかよし集会をひらこう</p> <p>めあて 一年生が楽しめるような 内容に工夫しよう。</p> <p>提案理由 先生の話</p>	<p>第三回 6年2組学級会</p>
---	--	--	--------------------

本時の視点

話し合いの進め方を理解し、自分の役割を果たしながら学級会を進行することができるか。  
提案者の思いや話し合いのめあて、クラス目標を意識して意見を考え述べることができるか。  
友だちの意見を生かそうとしているか。

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価( )と支援( )
6月14日 朝の会	・決まった活動に必要な役割を分担するなど計画を立てる。	これまでの経験からどのような役割が必要か意見を出すよう声をかける。 具体的な実践のイメージをもって意見を出している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
学級活動	・話し合いで決まった活動を実践する。	実際にやってみてどのように感じるか意識させることで、次時の活動につなげる。 話し合いで決めた内容を理解し、進んで取り組んでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
帰りの会	・集会のふりかえりを行う。	ここでの意見や考えが次回に生かされるため、具体的に記入するように声をかける。 学んだこと、感じたことを互いにふりかえっている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)